水の自給システムを災害対策の切り札に

ゼオライト㈱

医療機関で浄水設備の需要増

東日本大震災や熊本地震、度重なる集中豪雨…、甚大な被害をもたらす自然災害を想定したBCP（業務継続計画）策定の必要性が叫ばれる昨今。企業はもちろん、傷病者を受け入れ、非常事態でも事業継続が求められる医療機関についても、2017年にBCP策定を災害拠点病院指定の条件とするなど、一般病院を含めた危機管理への対応は急務となっている。

こうした災害対策への意識の高まりとともに、大きく需要を伸ばしているのが、ゼオライト（嶋村謙志社長）の井水浄水プラントだ。同社は全国有数の水処理プラントメーカーとして、工場やホテル、大型商業施設などに井水処理装置を納入し、コスト削減や水質改善、排水再利用など水に関するあらゆるソリューションを展開。創業から約半世紀という長い歴史で培った実績と信頼、そして水創りへの飽くなき探求心が育んだ技術力は高く評価され、九州や首都圏の有名病院をはじめ多くの医療機関が、災害時の水供給システムを確保する手段として同社の水処理装置を導入している。特に最近は関西圏での需要増が顕著で、6月に発生した大阪北部地震以降は、その伸びに拍車がかかったことは言うまでもない。

一方企業単体でみると、中小企業の多くでBCP策定が十分に進んでいないのが現状だと言われる。そんな中、東京都は災害時の混乱を抑制するため、2013年に全国初となる「帰宅困難者対策条例」を策定。これを皮切りに、今では政令市を中心とした全国の多くの自治体が企業備蓄に関する条例を設け、事業者は、概ね「従業員3日分の水（目安・1人当たり約9リットル）」を備蓄することなどをガイドラインに定めている。しかしそれだけの備蓄水を一度にストックするスペースを確保するのは容易ではない。そういった課題に対し、安心・安全で、しかも水コストの削減が期待できる自家用浄水装置の設置は有効な手段だと言えよう。

卓越した水処理技術で海外へ

6月には経産省の国内インフラの海外展開促進調査の実施事業者に採択された同社。計画では米国の南西部を流れるコロラド川の流域において、脱塩技術を用いた下水再生処理プロセスにおけるRO濃縮水（排水）の減容化事業に向けた調査を行うもので、事業実施の可能性があれば現地での水循環・再生水市場への参入を検討していく。「調査は数年かかると思うが、国内の有力企業にも協力をいただきながら、ぜひ事業化を実現したい」。そう意気込む嶋村社長は、このプロジェクトを本格的な海外展開への第一歩と位置付ける。水は事業活動や生命の維持に欠かせないライフラインでありながら、限られた資源でもある。その有効活用を通じて社会に貢献していく水創りのプロ集団は、今後も国内外での信頼を積み重ねながら成長を続ける。

水処理プラントのメンテナンス力も大きな強みだ

病院・工場・ホテル・商業施設など水を多く使用する施設に…

井戸水利用で“災害対策”・経費削減が実現!!

井水浄水装置（185㎥/日処理）

井戸水は適切な処理をすることで水道水同様、飲料水としてご利用いただけます。
また公共水道が断水した場合でも井戸水があれば水を確保することができるため最も有効な災害対策システムの1つであると注目されています。
井戸の掘削・関係官庁への申請・工事・メンテナンスまで一貫して行っており全国各地、多くのお客様に選ばれています。

災害時用給水栓

井水浄水装置（154.5㎥/日処理）

災害時、水は非常に貴重です。
井水浄水装置があれば施設用水を確保できるだけでなく、周辺住民へ水を提供することも可能です。

おかげさまで創業50年
ZEOLiTE ゼオライト株式会社
ISO9001　ISO14001認証取得
〈フリーダイヤル〉0120-41-3213
Tel 092-441-0793㈹
Fax 092-441-0796
〒812-0893　福岡市博多区那珂 5-1-11
支店：東京/大阪/名古屋
営業所：東関東/岡山/熊本/大分
長崎/北九州/宮崎
http://www.zeolite.co.jp

RO逆浸透膜による浄水処理プラント　全国1,000カ所以上で稼働中！

水処理のゼオライト　検索　でクリック!